

両国リハ同窓会だより

第3号

平成25年4月発行

H24. 11. 11. 第3回総会報告

第3回両国リハ同窓会総会

●平成24年11月11日、秋期講習会終了後、母校において第3回両国リハ同窓会総会が開催されました。議長比護幸宏氏(6期生)、書記茅野恵子氏(同)のもと、平成23、24年度事業報告、会計報告の後、以下の議案について、当日オブザーバーでご出席いただいた武内朗学科長を交え、活発な意見交換が行われました。

- | | | | |
|-------|---|-----|-------------|
| 第1号議案 | 会長選挙の件 | 1期生 | 根本恵太氏を選出 |
| 第2号議案 | 役員および会計監査承認の件 | | 根本氏提案のとおり承認 |
| 第3号議案 | 会計収支報告承認の件 | | 報告のとおり承認 |
| 第4号議案 | 了徳寺学園リハビリテーション専門学校閉校に伴う本同窓会の今後の活動方針について重要案件につき再度継続審議。全卒業生がそろったところで再度審議する。 | | |

追記 平成25年2月現在同窓会が了徳寺学園との話し合いで確認している今後について現リハ校校舎(2・3号館)を医療校校舎として使用の予定。

講堂、実習室の使用は申請により可能(同窓会には施設使用料は基本的に発生しない)。

日曜日、休日の使用に際しては学園から開錠管理者を出してもらい、その日当を支払う。

同窓会に対する会費出納管理、同窓生名簿管理、事務サービスは引き続き学園に移行して継続。ただし、発送作業当の実務に関して同窓会から人数を供出する場合がある。

同窓会事務局住所は変更の必要なし。ただし名称を了徳寺学園内等と変更の可能性あり。

新会長の挨拶・役員紹介

新会長よりご挨拶

両国リハ同窓会 新会長 1期生 根本 恵太

昨年11月に行われました、第3回同窓会総会にて会長に就任致しました、1期生の根本と申します。皆様のご支援により、円滑な同窓会活動を行えていますことをお礼申し上げます。

昨年度で私達の母校である、了徳寺学園リハビリテーション専門学校が閉校となり、最後の在校生であった8期生が卒業致しました。母校の閉校は寂しいものですが、毎年多くの理学療法士が輩出される中で、卒業生同士が繋がり、ネットワークを構築していくことは重要になると考えています。それを築き上げていくことは、同窓会活動のテーマです。

そのためには卒業生の同窓会への参加が不可欠です。今後も講習会、解剖実習の開催など、他の学校の同窓会にはない魅力的なイベントを企画し、卒業生が共に知識、技術を磨ける場を作っていきます。是非、積極的に同窓会へ参加をして頂き、学生時代を思い出しながら共に学び、たまにはお酒でも飲みに行きましょう。お待ちしております。



役員	2期 飯塚 哲二	2期 梅田 淳也	2期 菊池 久美子	2期 皆川 祐毅
	6期 伊澤 将太	6期 錦織 延洋	6期 茅野 恵子	6期 松浦 哲也
会計監査	3期 永井 絢也	5期 山越 望		

講習会報告

『徒手療法の評価治療手技とクリニカルリーズニング』

講師:藤縄 理 先生 (埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科教授)

日時:平成 24 年 6 月 24 日(日) 9:30~16:30



現在、理学療法の勉強会は無数にあり色々な治療手技が乱立している状況です。私を含め若いセラピストは、どのような勉強会に参加するか迷う事も多いのではないのでしょうか？私も悩み色々な勉強会に行きました。しかし、気付いた事は、どの勉強会に参加しても理学療法の前条件である運動、解剖、生理を理解していないと勉強会に参加しても上の空となってしまいます。

そんな中藤縄先生の徒手理学療法は、関節の構造に始まり運動の方向や可動性など運動、解剖、生理の新たな知識と再認識をする事ができました。また、勉強会で学んだ事を時間と共に使わなくなってしまう手技なども多いと思います。しかし、今回の治療手技は、継続して使っています。今後もこのような講習会に参加していきたいと思います。貴重な機会を頂き藤縄先生を始め役員の方々に感謝します。最後に、了徳寺学園は閉校しますが、今後も同窓会などの機会を利用して皆さんで盛り上げていきましょう！！

6期生昼間部卒業 松浦 哲也

『片麻痺の病態と評価、基本動作とハンドリング』

講師:武内 朗 先生

日時:平成 24 年 11 月 11 日(日) 10:00~15:00



文字だらけな穴埋めプリントとは違っていたものの、疫学や概念等のカタイ内容の資料がまず目に入りました。卒業して1年少々、勉強を疎かにしていた私にとってヘビーな内容なのではないか、と少々恐れていました。

しかし、新人の私でもわかりやすく有意義な内容でした。アライメントの確認、動作時の可動性や重心の移動状態などといったごく基礎的な事項からしっかり触診し適切に評価する。そして、肩鎖関節、胸鎖関節等の ROM-ex でも凹凸の法則などの、固定や誘導方向など、基本を押さえて治療する。どれも、学生時代に学んだ内容からつながった、触診、評価に基づいた内容(スライドの写真も見たことがあるような...)であり、実技指導を頂きながら、診るべきポイントを教えて頂きました。新人でも今できることをきちんと行うことで患者様の役に立ち得るということを再確認し、日々の治療に役立てていきたいと考えています。このような機会を下さり誠にありがとうございました。先輩から分かりやすく説明して頂いた様な、優しい武内“学科長”の姿が非常に印象的な勉強会でもありました。これは在学中には感じる事ができなかったことですが...

6期生昼間部卒業 三ツ木 弘和

分科会解剖学研究会 第4回解剖学実習

日時:平成 24 年 12 月 2 日 13:00~16:00

会場:千葉大学

講師:千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学講座 小宮山政敏先生

荒巻英文先生

篠田雄一先生



臨床の現場に出て早4年目となり、改めて解剖学の必要さを感じています。まず、私が臨床の現場に出て困惑したのが自身の解剖学の知識のなさです。教科書等で解剖学を勉強しました。しかし、患者様の身体に触れた際、筋や骨の形、走行、また神経や血管の位置や走行等が立体的にイメージできなかったのです。確かに勉強しましたが、あくまでそれは教科書という平面上でのこと。真に理解すべきは立体的な身体の状態です。触診した際に触診した筋だけでなく、隣接する筋の位置や深層の筋の位置、神経の位置や走行を理解していなければ触診をしても正確に状態を把握するのは困難です。そこで解剖実習では自分が今までに担当した患者様に触れた時の状態をイメージし、見学、触診をさせて頂いています。先生方の講義を聞くと初めて知ることも多く、改めて解剖学の必要性を感じます。よりよい治療を行っていくためにも機会があれば是非参加をしていきたいと考えています。

4期生昼間部卒業 大島 寿夫

~~~~先生方と最後の卒業生から~~~~

武内 朗 先生

了徳寺学園リハビリテーション専門学校(両国リハビリテーション専門学校)卒業の皆様お元気でしょうか。当校は2002(平成14)年1期生を迎え、今年度8期生が卒業となります。残念ながら本校は今年度で閉校となってしまいますが、開設当時の新設校ならではの苦勞も、今では皆様の努力で一定の評価を得るまでに至っております。

実際各施設で責任者として活躍している姿、起業し地域で汗を流している様子などを目にし、耳にするたびに、皆様と関わることができたことに誇りを感じています。学校はなくなりますが、皆様が学生時代を含め卒業学んできたことが、これからまさに花を咲かせ、実となっていきます。「誇りと自信」この精神を胸に、多くの理学療法を必要とする対象者に、元気に生きる力を再び与えることができるような活動を期待しております。

皆様の今後一層のご活躍とご健康を祈念いたします。



山之口 三喜男 先生

「永遠の記憶の中に…」

皆さんお元気ですか？山之口です。もう卒業して1人前になったみなさんに上から目線で何かを語るべき内容はもうありません。「リハビリとは笑顔なり」「医療人はろうそくたれ」…その思いは学校で語りつくしました。今日は、私自身の思い出話を少しさせてください。

両国に赴任したのは平成14年1月10日。2日後には立ち上げ作業の前任者が退職し7階の教員室にたった1人残されました。当初の数年間には現在のパソコン室が教員室だったんです。そのあと6階の義肢装具室が現教員室になりました。さて、「え～、たった1人でこのあとどうすりゃいいの(*_*;)」なんて言う暇もなく、入試も含めた新年度新学期的ありとあらゆる準備を前例もなしで2ヶ月でしなければなりません。それこそ泊まりこみでの作業となりました。秋葉原のカプセルが常宿でした。同じことを今やれと言われても頭底無理な話ですが、私も当時は44歳。まだギリギリの若さでなんとか頑張りきることが出来ました。ハードからソフトまで、両国リハ何でも屋さんの誕生秘話です。

普通は卒業式で涙するものですが、実は1期生を迎えた入学式の日には第一ホテルのトイレにこもってうるうとしてました。たった2ヶ月半しか経ってないのにまるで4年間を終えた卒業式のような達成感に浸ってました。懐かしくも少し恥ずかしい思い出です。1期生の入学から8期生の卒業まで11年間。正直に言いますと1期生を送り出す時は私も一緒に卒業しようと最初は思っていたのです。ですが、嬉しいことにもっと学校に残っていたいたいという学生がいましたので、では彼らを見送るまでは…が毎年続き、気がつけば今度は最後の教員として教員室に1人残ることに。7階と違い6階の教員室は1人では広すぎました。

この間、世に巣立った卒業生は911人になります。いい意味でもそうでない意味でも強烈な印象を残していく学生もいましたが、目立たなかったけどやるべきことをしっかりと積み重ねていたあなたのこと。気づかぬふりでしっかりと見ていましたよ。あまり話しはしてなくてもよく覚えています。教員とはそういう者です。何期生だったか…までは少しごめんなさい^_^; 911名、かなりの数です。でも元々は1250名の入学生がいたのです。このうち4分の1は去っていきました。残念ながらまだ国家試験に挑戦中の君、厳しい実習その他の試練を乗り越えて生き残り「卒業をした」ということだけでも十分に価値あることです。自信を持って、試験合格を目指してもう一頑張りしてください。現場で責任者や中堅どころとなっているあなた、まだまだです。医療という頂上の見えない登山を始めた瞬間から常に現在の立ち位置は「まだまだ未熟」なのです。学生に毛が生えた程度と自覚して更に精進してください。私もまだ3本ぐらいしか毛がないので「ふさふさ」を目指しています。でもその前になけなしの3本のうち2本までが白髪になってしまいました。…抜けたらもっと困るのでジャーナルシャンプーでケアしてます…。

気がつけば11年。最高で8年間もいてくれた学生もいましたが私が最長不倒です。両国の歴史を見続けた身としてはこの閉校は涙が出るほど寂しいです。ホントにみんなの何倍も悲しいです。故郷が無くなってしまうような喪失感です。でも、911人も仲間を作ることが出来ました。911人も同志を得ることが出来ました。今年で組織は無くなっても、遠い将来にはビルさえ無くなっても、両国のかの地には確かに楽しい思い出と嫌な思い出を刻み込んだ学校があったのです。人生の方向を大きく決めた学校があったのです。その事実だけは決して消えません。私も8期生分の卒業アルバムを胸にして3月29日に鍵をかけます。ドキドキしながら1期生を迎えたあの日の朝を思い出しながら、その万感の思いは永遠の記憶の中に生き続けます。1250名のみんな、ありがとう。そしてさようなら、両国。素晴らしい11年間でした。

(平成25年3月21日、引越し作業を終えた日に)



齋藤 倫子さん(8期生昼間部卒業)

(写真左下が筆者)



2月24日、第48回国家試験が終わりました。当日は先生方の応援の元、今までの成果を発揮することができました。私は社会人、子育てを経て、しばらく勉強から離れていた為、入学当初は勉強と子育ての両立、通学時間など不安もありました。しかし様々な年代のクラスメイトと勉強したり、時には旅行に行ったり、沢山の思い出ができました。友達との別れ、実習や試験など決して楽しいことばかりだったとは言えませんが、その1つひとつを乗り越えて来たからこそ、今、国家試験を終える事が出来たのです。この4年間という月日は私にとって大変成長できた4年間でした。ここまで来られたのは、先生、友達、先輩方、そして家族...沢山の人の協力があったこそだと思います。最後の卒業生となりましたが、両国で過ごしたこの4年間を忘れる事なく、これからもう徳寺学園リハビリテーション専門学校の卒業生として、先輩方と共に頑張っていきたいと思います。

トピックス & コラム

訪問看護ステーションを開設して

株式会社スマイルケアブリッジ 代表取締役
2期生卒業 菊池 海希斗

スマイルリハ訪問看護ステーション松戸 <http://www.smile-reha.co.jp/>

平成23年8月に千葉県松戸市にリハビリ特化型の訪問看護ステーションを開設し現在2年目を迎えました。開設してから現在までに利用者様は延べ200人を超え、スタッフも非常勤を含めて16名まで増員し、毎日忙しいながらも充実した日々を送っています。



当事業所は小児から高齢者まで訪問看護・訪問リハビリテーションをおこなっており、その症状や生活環境は様々です。そのため、サービス開始前の管理者の看護師による事前訪問や経験者による同行訪問も取り入れており、日々リスク管理を含めた知識と情報の共有に努めています。その他に、訪問診療所の主治医とのカンファレンスの実施や事業所との連携等、地域連携にも力を入れています。

また、「日々のサービスだけでなく、利用者様に楽しんでもらえるようなイベントをしたい」とスタッフから意見が出て、平成24年度は地域の公民館にて夏祭りも開催しました。当日は、地域の高校の吹奏楽部も演奏で盛り上げてくれました。当日参加できた利用者様は一部ですが、リハビリも兼ねて利用者様も会場の飾りづくりにご協力いただき、本当にみんなで作り上げた夏祭りとなりました。

始める前から今まで不安や苦労もありましたが、利用者様からいただく感謝の言葉やスタッフみんなの協力のおかげで今日までやってこられました。これからも地域の皆様に「希望」をもって「安心」した生活が送れるように日々精進していきたいと思っています。

両国リハ同窓会ホームページリニューアルについて 6期生昼間部卒業 錦織延洋

システムトラブルなどの問題で旧ホームページが利用不可能になったため、現在新しいホームページを作成中です。完成後パスワードを配信します。内容としては「過去の講習会動画・資料」、解剖学実習など「今後の活動予定」などをUP予定です。さらにfacebookの活用により新着情報の案内が送信される予定です。



新しいホームページのURLはこちらです。 <http://ryorehadosokai.com>

編集後記

「両国リハ同窓会だより」第3号をお届けします。今回は先生方や最後の卒業生はじめ、多くの皆様にご協力いただき、ありがとうございました。今後も発行を継続できるよう頑張ります。同窓会に関するお問い合わせは下記までどうぞ。

連絡先: ryorehadosokai@yahoo.co.jp

会報担当 6期生夜間部卒業 茅野 恵子